

「翼がくれたゆめ」

大竹 心

ぼくは、キャプテン翼をケーブルテレビで見
て、一年生のときに、好きになりました。
なぜ好きになっただかというところ、このアニメが
サッカーのアニメだったからです。ぼくは、
そのころサッカーを始めたばかりでした。

翼には、たくさんのライバルが出てきます。
中学生になっても高校生のときもサッカ
ーを
つづけて、しまいには、プロになっ
たりして
いきます。

ぼくは、キャプテン翼のしあいが好きでし
た。しあいで翼は、かならず勝つという
気持ちです。ていませんでした。つまり、勝
てるという事を信じていました。

ぼくが好きな登場人物は、翼はもちろ
ん、岬太郎です。翼と岬はしんゆうでし
た。しあ
いではゴールデンドリームとい
われていました。
その二人の速いパスにはおどろ
きました。

ぼくは、キャプテン翼を見ているうちに絵
がかきたくなり、ついにかきはじめました。
さいしよはマンガを見て描き、つぎにうつし
絵をはじめ、何まい、何十まい、そして、百
八十まいくらいになっ てしまいました。それ
を見ては、まんぞくするばかりでした。

そして、絵を描くだけじゃなく、マンガを
描きはじめました。題名は、「はしれ!!ダッ
シユ」 というマンガです。描いていくうちに
ノートハさつになりました。ぼくもキャプテ

ン翼とにたようなマンガをかきたかっ たから
です。ダッ シユ がしあいに勝つ たり、ライバ
ルとたたかったり、ゆうじょうを深めていく
うちに、ぼくのゆめがふくらんでいきました。
キャプテン翼は、ぼくにサッカーというゆ
めをあたえてくれました。キャプテン翼を見
るたびに、もっとサッカーがうまくなりたいと
おもいました。そして、ぼくも、たくさん練
習し、マラソンをしたり、ふっ きんはいきん
うでたてをがんばっています。

エ、プロテ^ン翼を見ていると、たくさんの勇
気がわいてきます。これから、ほくも、た
れにもまけない、サッカ^ーせんし^ゅになるた
めがんばりたいとおもいます。そして、翼の
ようにプロになれるようにがんばりたいです。